

2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月8日

上場会社名 株式会社 ヤギ
 コード番号 7460 URL <https://www.yaginet.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 八木 隆夫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画本部長 (氏名) 長戸 隆之

TEL 06-6266-7332

四半期報告書提出予定日 2021年2月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	84,038	8.5	2,194	8.7	2,576	0.1	1,610	20.0
2020年3月期第3四半期	91,883	1.1	2,403	0.8	2,573	6.2	2,011	27.7

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 1,833百万円 (23.2%) 2020年3月期第3四半期 2,388百万円 (145.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	194.23	
2020年3月期第3四半期	243.24	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	69,784	36,017	51.0
2020年3月期	60,508	34,278	55.9

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 35,615百万円 2020年3月期 33,839百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		24.00		24.00	48.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)				35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	106,000	10.9	1,550	34.0	1,500	34.6	800	20.8	96.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期3Q	10,568,000 株	2020年3月期	10,568,000 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2021年3月期3Q	2,266,036 株	2020年3月期	2,288,036 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期3Q	8,290,964 株	2020年3月期3Q	8,270,999 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

2020年11月11日に公表いたしました連結業績予想について本資料において修正しておりません。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、依然として長引く新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、雇用情勢や企業活動など様々な側面において厳しい状況下にあります。感染対策の拡がりや政府によるGoToキャンペーンもあり、一度持ち直したかに見えた個人消費も足踏み状態であり、今後の先行きが感染症拡大の収束動向に左右される、極めて不安定な経済情勢が続いております。

このような状況の下、当社グループは3ヵ年の新中期経営計画「MAKE A DREAM, 1+∞」を策定し、「経営体制の高度化」、「事業ポートフォリオの最適化」、「次世代事業の創出」、「サステナビリティの着実の実行」の4つの重点方針を掲げ、経営組織体制の強化、優良取引先との取り組み強化、ブランドビジネスの強化、当社グループとしてのエシカル活動であるYAGIthical（ヤギシカル）の推進といった様々な施策を推進しております。

当社グループとしても制約が多いなか、感染防止策を講じつつ経営努力を重ねておりますが、市況の停滞感を払拭するには及ばず、当第3四半期連結累計期間の当社グループの売上高は84,038百万円（前年同期比8.5%減）、営業利益は2,194百万円（前年同期比8.7%減）、経常利益は2,576百万円（前年同期比0.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,610百万円（前年同期比20.0%減）となりました。

セグメント別の経営成績を示すと、次の通りであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で示しております。

①マテリアル事業

天然繊維・合成繊維ともに、上期で落ち込みが大きかったものの下期から加工用備蓄糸の販売が回復傾向にあるほか、一部高付加価値原料も堅調に推移しました。また通販向け、量販向けテキスタイル販売も好調な動きを見せました。しかしながら、全体として各産地のニット・染工場・加工場で稼働率の低調推移が続き、減産や契約キャンセルを余儀なくされるなど苦戦を強いられております。

この結果、売上高は25,287百万円（前年同期比12.2%減）、セグメント利益（経常利益）は237百万円（前年同期比5.9%減）となりました。

②アパレル事業

家庭内時間が増えた背景を追い風に、いわゆる“巣ごもり需要”に呼応し通販向け事業でホームウェアや高価格帯商材の販売が好調であったほか、量販向けでは実衣料となる子供服やインナー商材が堅調に推移しました。一方で、都心部を中心に実店舗を展開する駅ビル・百貨店・セレクトショップ向けは、来店客数の減少がそのまま売上減となり、受注減や小ロット生産対応となり、苦戦を強いられております。

この結果、売上高は44,555百万円（前年同期比13.3%減）、セグメント利益（経常利益）は1,658百万円（前年同期比5.9%減）となりました。

③ブランド・ライフスタイル事業

ブランド品を扱う事業においては、店舗での売上が伸びず苦戦が続いております。一方で生活資材事業や家庭内の抗菌抗ウイルス商材といったライフスタイル事業では堅調に推移しました。またデザイン性と機能性のバランスに優れたマスクのみならず、コスメブランド向けマスクや、ナノファイバー製品ブランドを使用した高機能素材マスクなど、差別化を図ったマスク商材の積極展開が健闘し収益に寄与しました。

この結果、売上高は16,522百万円（前年同期比16.4%増）、セグメント利益（経常利益）は1,190百万円（前年同期比38.0%増）となりました。

④不動産事業

売上高は533百万円（前年同期比0.9%増）、セグメント利益（経常利益）は307百万円（前年同期比1.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①流動資産

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ8,620百万円増加し、54,006百万円となりました。これは、現金及び預金が増加したことが主な要因であります。

②固定資産

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ655百万円増加し、15,777百万円となりました。これは、貸倒引当金が減少したことが主な要因であります。

③流動負債

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ7,442百万円増加し、27,527百万円となりました。これは、短期借入金が増加したことが主な要因であります。

④固定負債

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べ94百万円増加し、6,239百万円となりました。これは、繰延税金負債が増加したことが主な要因であります。

⑤純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ1,738百万円増加し、36,017百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益が1,610百万円計上されたことが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想に関しましては、2020年11月11日に発表しました連結業績予想から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,772,156	9,634,669
受取手形及び売掛金	23,695,506	25,283,197
電子記録債権	6,695,344	7,837,162
たな卸資産	8,901,413	8,962,443
その他	1,532,318	2,408,756
貸倒引当金	△210,697	△119,462
流動資産合計	45,386,041	54,006,767
固定資産		
有形固定資産	4,776,345	4,731,097
無形固定資産		
のれん	687,048	451,990
その他	917,678	993,083
無形固定資産合計	1,604,726	1,445,073
投資その他の資産		
投資有価証券	5,368,702	5,860,214
その他	4,905,659	4,586,892
貸倒引当金	△1,533,401	△845,628
投資その他の資産合計	8,740,960	9,601,478
固定資産合計	15,122,032	15,777,649
資産合計	60,508,074	69,784,416
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,091,294	9,183,653
電子記録債務	1,807,321	1,777,471
短期借入金	790,251	8,050,167
1年内返済予定の長期借入金	2,025,704	1,625,776
未払法人税等	440,043	668,784
賞与引当金	509,983	330,227
その他の引当金	82,287	37,682
その他	4,337,587	5,853,582
流動負債合計	20,084,472	27,527,345
固定負債		
長期借入金	3,619,350	3,605,252
繰延税金負債	80,302	195,710
引当金	227,500	235,000
退職給付に係る負債	1,035,787	1,072,389
その他	1,182,073	1,131,519
固定負債合計	6,145,013	6,239,871
負債合計	26,229,486	33,767,217

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,088,000	1,088,000
資本剰余金	938,937	955,809
利益剰余金	32,966,819	34,463,208
自己株式	△1,906,084	△1,887,756
株主資本合計	33,087,673	34,619,261
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,035,926	1,474,538
繰延ヘッジ損益	190,544	△99,195
為替換算調整勘定	△1,244	△10,289
退職給付に係る調整累計額	△473,570	△369,115
その他の包括利益累計額合計	751,656	995,936
非支配株主持分	439,258	402,001
純資産合計	34,278,587	36,017,199
負債純資産合計	60,508,074	69,784,416

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	91,883,943	84,038,937
売上原価	77,875,449	70,292,477
売上総利益	14,008,494	13,746,460
販売費及び一般管理費	11,605,421	11,551,845
営業利益	2,403,073	2,194,614
営業外収益		
受取利息	19,639	11,374
受取配当金	154,922	146,385
為替差益	-	5,392
持分法による投資利益	118,133	77,195
その他	70,610	224,032
営業外収益合計	363,306	464,381
営業外費用		
支払利息	41,625	38,654
売上割引	13,686	10,617
貸倒引当金繰入額	88,396	3,863
為替差損	21,974	-
その他	26,798	29,709
営業外費用合計	192,480	82,844
経常利益	2,573,898	2,576,152
特別利益		
投資有価証券売却益	86,471	201,941
抱合せ株式消滅差益	399,584	-
特別利益合計	486,055	201,941
特別損失		
減損損失	-	10,679
のれん減損損失	-	101,261
貸倒引当金繰入額	-	79,374
債務保証損失引当金繰入額	62,800	-
特別損失合計	62,800	191,316
税金等調整前四半期純利益	2,997,153	2,586,777
法人税等	924,537	973,341
四半期純利益	2,072,616	1,613,435
非支配株主に帰属する四半期純利益	60,773	3,099
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,011,842	1,610,336

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	2,072,616	1,613,435
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	230,519	398,428
繰延ヘッジ損益	47,943	△289,740
為替換算調整勘定	△14,809	△11,784
退職給付に係る調整額	46,432	104,455
持分法適用会社に対する持分相当額	6,087	18,858
その他の包括利益合計	316,173	220,217
四半期包括利益	2,388,789	1,833,653
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,328,117	1,828,259
非支配株主に係る四半期包括利益	60,672	5,394

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	マテリアル 事業	アパレル 事業	ブランド・ ライフスタイル事業	不動産事業	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	26,742,260	50,680,859	14,106,736	354,086	91,883,943	-	91,883,943
セグメント間 の内部売上高 または振替高	2,042,282	718,078	91,854	174,204	3,026,419	△3,026,419	-
計	28,784,543	51,398,938	14,198,590	528,290	94,910,363	△3,026,419	91,883,943
セグメント 利益	252,571	1,763,085	863,002	304,268	3,182,929	△609,030	2,573,898

(注) 1. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用及びセグメント間取引消去等が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 報告セグメントのセグメント利益及び調整額の合計は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	マテリアル 事業	アパレル 事業	ブランド・ ライフスタイル事業	不動産事業	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	23,534,334	44,092,269	16,048,214	364,118	84,038,937	-	84,038,937
セグメント間 の内部売上高 または振替高	1,752,836	462,912	474,358	169,145	2,859,253	△2,859,253	-
計	25,287,171	44,555,181	16,522,573	533,264	86,898,191	△2,859,253	84,038,937
セグメント 利益	237,737	1,658,426	1,190,714	307,392	3,394,271	△818,119	2,576,152

(注) 1. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用及びセグメント間取引消去等が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 報告セグメントのセグメント利益及び調整額の合計は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より事業セグメントの区分方法を見直し、報告セグメントを従来の単一セグメントから、「マテリアル事業」、「アパレル事業」、「ブランド・ライフスタイル事業」、「不動産事業」の4つのセグメントに区分いたしました。これは、2020年5月13日に公表いたしました「中期経営計画2023 MAKE A DREAM, 1+∞」の重要施策の1つである「経営体制の高度化」に対応するため、当社グループの事業を4つのセグメントに分け、経営組織体制の強化と意思決定の迅速化を図っております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報につきましては、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

変更後の報告セグメントに属する主要な製品サービスは以下のとおりであります。

報告セグメント	主要な製品サービス
マテリアル事業	原料(糸)及びテキスタイルの製造販売
アパレル事業	繊維二次製品のOEM/ODM事業
ブランド・ライフスタイル事業	自社ブランドの卸・小売、生活資材・寝装品・生活雑貨の製造販売
不動産事業	不動産賃貸事業

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ブランド・ライフスタイル事業」のセグメントにおいて、当第3四半期連結会計期間に、撤退予定店舗等について減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、111,941千円です。

(のれんの金額の重要な変動)

「ブランド・ライフスタイル事業」のセグメントにおいて、当第3四半期連結会計期間に、のれんの減損損失101,261千円を計上したため、のれんの金額が減少しております。

なお、上記(固定資産に係る重要な減損損失)の中に当該のれんの減損も含めて記載しております。